



Nexus-HHC

Japan Home Health Care Alliance

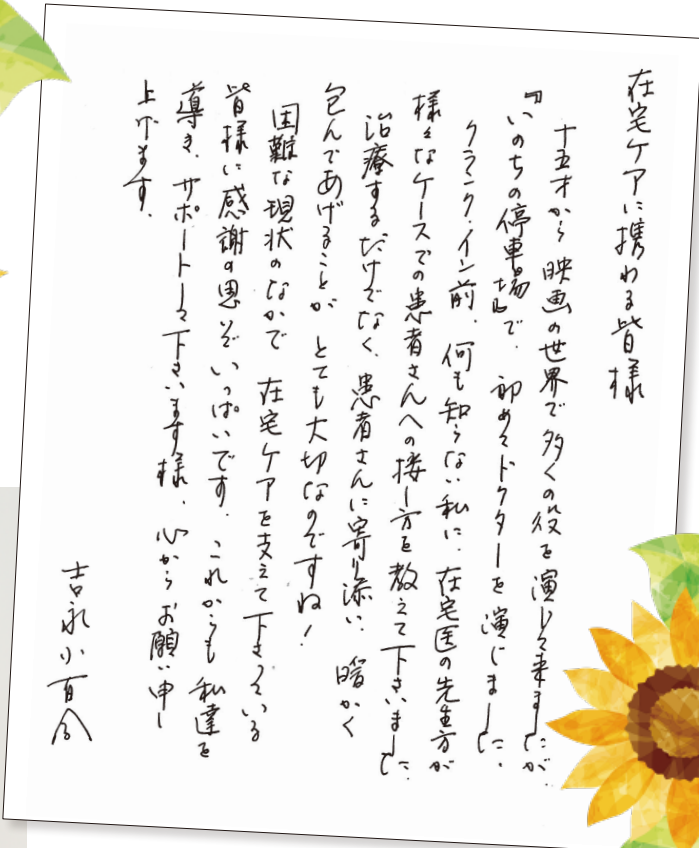
創刊号

Issue **01**

2021.JUL

〈Nexus(ネクサス)：集団、結合体、つながりや結びつき〉

多職種で在宅ケアを支える日本在宅ケアアライアンスに
ふさわしい言葉として、会報名にいたしました。



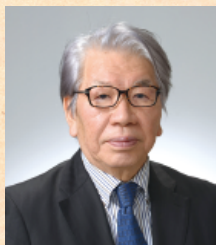
To JHHCA
Message

映画『いのちの停車場』で

在宅医を演じた
吉永 小百合さん



創刊のご挨拶



一般社団法人
日本在宅ケアアライアンス理事長

新田 國夫

日本在宅ケアアライアンス (Japan Home Health Care Alliance) は、2014年11月23日に発表された「在宅医療推進のための共同声明」に賛同した、在宅ケアにかかわる専門職や学術団体などが参加し、2015年3月にその活動をスタートさせました。

2020年11月16日には一般社団法人として登記を行い、現在は加盟19団体による在宅ケアにかかわる多職種の連合体として組織されており、加盟各団体の構成員総数は6万人を超えるものとなっております。

在宅ケアの質の向上及び普及、多職種の連携における課題の共有と解決、関連団体のネットワーク化と協働的取り組みなどを目指し、様々な事業を行なっている所存でございます。

そのためには、多職種がそれぞれの役割を理解し合い、どのようなかわりを持っていけるのかを知ることが大切になります。ぜひ、ニューズレター「Nexus-HHC」を積極的な情報提供や意見交換の場としてご活用いただき、加盟各団体と日本在宅ケアアライアンスの更なる活動・発展の一助としていただければ幸いです。



正会員 社員団体紹介

(一社)日本在宅ケアアライアンスに加盟の社員団体(正会員)の最新の活動内容、今後の展望などを毎号3団体ずつ紹介いたします。



一般社団法人

日本プライマリ・ケア連合学会



COVID-19 情報サイトを開設

ワクチンの筋注手技に関する解説動画

本学会では COVID-19 感染拡大当初からプロジェクトチームを結成し、学会 HP に情報サイトを開設。最新の公開情報を供覧すると同時に、プライマリ・ケアに従事する医療従事者のための初期診療の手引きを発行し、今に至るまでアップデートを続けています。また、感染不安を抱える患者の受診控えに対応して注目を浴びたオンライン診療についても診療ガイドラインを発行し、そのメリットとリスクを解説し、第4の診療として位置付ける姿勢を示しました。それに加え、訪問診療や通所サービスでの感染拡大が全国的に問題になる中、訪問・通所系サービス従事者向けの対応の手引きも発行しました。

最近では、ワクチン接種についての基礎知識の解説動画、そして筋注手技に関する解説動画を発表。さらに、市民向けの動画も多く公開し好評を得ています。

感染防止やワクチンに関する最新で分かりやすい情報発信を続け、地域の現場で診療にあたる医療者を全面的に支援するとともに、一般市民向けの情報提供も行い、プライマリ・ケア診療の普及と質向上支援を続けています。

一般社団法人

全国在宅療養支援歯科診療所連絡会



歯科医がサンタに扮して施設を訪問

訪問歯科診療の様子

全国在宅療養支援歯科診療所連絡会(HDC)、は全国の在宅歯科医療に携わる歯科医師、歯科衛生士で構成された団体です。口腔の機能は、摂食機能、発音機能、呼吸の経路としての機能など多岐にわたり、機能管理、健康管理には多職種の協働が必須です。

在宅医療にかかわる専門職内の縦の関係においては、医療や介護の理論や方法はかなり向上したように感じます。しかし専門職が横の関係で情報を共有し、協働することははまだ発展途上であると思われます。口腔機能や口腔の状態等に関する情報、口腔衛生の管理、虫歯や歯周病など口腔疾患の治療や管理、入れ歯や食べることにに関して口腔機能の管理やリハビリテーションの在り方などを、関係する多職種の皆が共有することにより、安全で安心さらに幅広い医療や介護が提供でき、大きな効果が期待できます。

それは利用者の生物学的な生命の質ばかりでなく、生活の質・人生の質の向上が期待でき、精神的にもより良い影響を与えることができると考えられます。

そのような意味からも、アライアンスの今年度事業の一つの要でもある「食支援事業」にはぜひ積極的にかかわっていきたくと考えています。

日本在宅ホスピス協会



岐阜新聞の一面トップに掲載

これまで開催された
全国大会の様子

日本在宅ホスピス協会(HHA)は、医療・介護・福祉の多職種やボランティア、患者の遺族も会員となり、全国大会では『癒しを提供するものは自ら癒されなければならない』をモットーとし、温泉につかり、わいわいがやがや無礼講で親睦するアットホームな会です。ただ、コロナ禍では残念ながらそうもいかず、今年度は2022年2月19日のみ、東京都立川市でオンライン・リアルハイブリッド形式で安全な全国大会を開催予定です。

難易度の高い独居の看取りなども可能にするため、多職種協働のキーパーソン(Total Health Planner: THP)の存在が不可欠と考え、全国で51名のTHP養成・認定しました。

また、在宅ホスピス緩和ケアのスキルを高め、健やかな社会をもたらすことに重点を置いており、HHAからなんと4名もヘルシー・ソサエティ賞受賞の誉に浴しました。6月10日、岐阜新聞の一面トップニュースで「在宅医療：コロナ下の在宅みとり」が掲載されるなど、HHAの会員は啓発活動にも力を入れています。

一般社団法人 日本在宅ケアアライアンス 社員団体

正 会 員	<ul style="list-style-type: none"> ●一般社団法人 全国在宅療養支援医協会 ●一般社団法人 全国在宅療養支援歯科診療所連絡会 ●一般社団法人 全国訪問看護事業協会 ●一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 ●一般社団法人 日本介護支援専門員協会 ●一般社団法人 日本ケアマネジメント学会 ●一般社団法人 日本在宅医療連合学会 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般社団法人 日本在宅栄養管理学会 ●一般社団法人 日本在宅ケア学会 ●一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 ●一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会 ●一般社団法人 日本老年医学会 ●公益社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会 ●公益社団法人 全日本病院協会 	<ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人 日本訪問看護財団 ●特定非営利活動法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク ●特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会 ●特定非営利活動法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会 ●日本在宅ホスピス協会
	(五十音順)		



うの目 たかの目
メディアの目

迫田 朋子

ジャーナリスト
元 NHK 解説委員 / 福祉番組ディレクター

「防災」が地域を一つにする

5月20日に改正災害対策基本法が施行になった。避難勧告がなくなり「避難指示」に一本化されたことばかり報道されているが、在宅ケア関係者にとって重要なのは、個別避難計画作成が市町村の努力義務となったこと。避難行動に支援が必要な高齢者や障がい者一人ひとりについてどこにどのように避難するかプランを事前に作成しておくものである。

この改正の背中をおしたのが大分県別府市の取り組みだ。相談支援専門員やケアマネージャーが、通常のケアプランに加えて災害時の避難計画を作成する。市の防災担当と一緒に、当事者の防災リテラシーを確認し、地域のひとたちと話し合いを重ね、災害時ケアプラン（個別避難計画）を作成、避難訓練で試す。

実は、私は、この別府市の取り組みを2016年の事業開始当初から撮影し記録してきた。そこから学んだいちばん大事なポイントは、このプロセスの最終目標は共生社会であり、地域づくりにつながる、という点だ。障がい者と地域のひとたちの相互理解が次第に深まり、自分だけが助かるのではなくみんなで助かることこそが重要だと気づく。防災というテーマは地域を一つにする、そして、地域包括ケアとも地続きなのだと教えられている。

遠くの名医より
近くの 在宅医



太田 秀樹

日本在宅ケアアライアンス事務局長
全国在宅療養支援医協会事務局長

永遠のモドンナが在宅医に!

映像に登場する医者は、神の手をもつ外科医が定石だ。生死を彷徨う患者をメスが救う場面に感動があふれる。古くは「ベン・ケーシー」にはじまり、「白い巨塔」の財前五郎も、そして、「ドクターX～外科医・大門未知子～」も、手術を失敗しないから、魅力的なのである。ちょっと派手で、カッコよさには誰しもがここがれる。そんなエンターテインメントとしての要素は不可欠だ。

ところが、青天の霹靂、事件が起こった。永遠のモドンナ吉永小百合が在宅医に扮した映画「いのちの停車場」のロードショウが始まっている。松坂桃李や広瀬すずなど大人気の若手を加え、贅沢なキャスティングで、在宅医療がとりあげられた。人の死を問う、社会派のにおいを漂わせた映画でもある。

在宅医療と聞くと、地味なイメージがつかまとう。便秘のお婆さんに、浣腸もって緊急往診する場面もある。命を救うどころか、安らかに看取る医療とみなされがちだ。しかし、侮るなかれ。奇しくもコロナ禍で、在宅医療の価値が見直されている。PCR陽性者を在宅で管理している在宅医もいる。在宅酸素療法をはじめステロイドや必要があればヘパリン投与も可能だ。急性期医療も在宅医の出番となった。遠くの名医より近くの在宅医が頼られる。そんな時代が到来している。

厚生労働省の動き

アライアンス緊急要望を受けて、
コロナ下の在宅医療の事務連絡を発出

厚生労働省も新型コロナ対策に忙殺される日々が続いていますが、その中でも日本在宅ケアアライアンス（JHHCA）との連携に注力していただいています。

今年2月にも迫井正深医政局長がJHHCA 新田理事長等との面談に応じ、JHHCAからの緊急要望を受け取るとともに情報交換・意見交換を行っていただきました。この緊急要望は、まずJHHCAが出した緊急行動宣言を踏まえ、関係者が行動するためには行政の支援・協力が必要であるためその要望事

項をまとめて提出したものになります。

この要望を踏まえ、厚生労働省においても、ただちに事務連絡を発出しました。それが、令和3年2月16日付け「新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の整備に向けた一層の取組の推進について」（厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部）です。

コロナ対策以外の在宅関係の動きとしては、今後、来年の診療報酬改定に向けた中医協の議論、次期医療計画策定のための検討が始まります。この動きについても、このニューズレターでもフォローしていきたいと思えます。

(文責・日本在宅ケアアライアンス事務局)



一般社団法人日本在宅ケアアライアンスは2020年11月に一般社団法人として発足し、2021年度から本格的に事業を開始しました。4月から正会員として19団体が揃い、加えて趣旨に賛同した賛助会員が増えつつあり、在宅ケアの大きなつながりが生まれつつあると実感しています。

■新型コロナウイルス感染症対策

日本在宅ケアアライアンスにとって、昨年从今年にかけて大きな動きもありました。一つは、新型コロナウイルス感染症対策です。これまで、本人の望む在宅療養生活が困難になる状況に直面しつつも、私たちが守るべき理念は、①在宅療養者の命を守ること、②本人の願いと生活を守ること、③本人の願いを最期に実現すること、そのため支える医療の実践をチームで推進すること(2020年6月22日「対処方方針」参照)であり、この理念を関係団体と共有して行動してきました。

そして、今年の感染急拡大に際して、在宅に医療の空白を作らない、という決意の下、緊急行動宣言(2月)、医療提供プロトコルの作成・公表(5月)を行ってまいりました。国・関係団体と引き続き連携してまいります。

■映画「いのちの停車場」を後援

二つ目の大きな動き、それは日本在宅ケアアライアンス後援の映画「いのちの停車場」の封切りです! この映画にはアライアンスの関係者も多く関与しており、必見の映画だと思います。



JHHCA 令和3年度 事業計画 ①

在宅ケアの研究・課題解決・普及促進を目指す11事業



日本在宅ケアアライアンス(JHHCA)の取り組みとして、「多職種連携による在宅ケアに関して、その在り方の研究、課題の解決のための取り組み、在るべき姿の普及促進等を行う」ということがあります(「定款」より引用)。継続事業・新規事業合わせて、JHHCAでは右記の11の事業が進められています。いずれも、在宅ケアのあり方の研究、課題解決、普及促進のためのモデル開発の性質を持つものです。

この欄では、次号以降、これらの事業の紹介や報告を行っていきたく思いますので、どうぞよろしく願いたします。(研究事業部長 高橋在也)

- 災害時の在宅医療支援モデル構築事業
- 大都市圏における在宅医療システムのモデル構築事業
- 小児・成人の在宅医療の課題共有とモデル構築事業
- 在宅医療のデータブック開発 / 在宅医療に関する市民・専門職啓発事業
- 入院在宅移行のための多職種による連携モデル構築の研究
- 食支援を軸とした多職種連携モデル構築の研究
- 在宅医療における介護職の専門性についての基礎的研究
- 在宅医療の質についての基礎的研究
- 新興感染症の感染拡大時に必要な在宅医療提供体制についての研究(厚労科学特別研究事業)
- 在宅療養者と多職種の視点を活かした我が国の在宅療養におけるQOLに関するパイロット研究(アカデミックグループ)
- 在宅医療における質的概念(「生きがい」)の検討(エシックスグループ)



日本在宅ケアアライアンスニュースレターの創刊号は、東映映画「いのちの停車場」で在宅医を演じた吉永小百合さんのメッセージで飾っていただきました。5月末の公開後、全国で上映ヒット中。ぜひ映画館に足をお運びください。

エンドロールには、日本在宅ケアアライアンス関係者やおなじみの方々の名前が、たくさん並びます。ストーリーは言うまでもなく、その感激も加わり涙が止まりませんでした。(S)

当法人の目的・趣旨にご賛同いただける個人・団体等に賛助会員としてご協力・ご支援をお願いしております。ぜひ賛助会員にご入会くださいますようお願い申し上げます。

■ お問い合わせ・お申し込みは下記、日本在宅ケアアライアンス事務局まで ■

賛助会員

- 医療法人 心の郷 穂波の郷クリニック
- 一般財団法人 在宅ケアもの・こと・思い研究所
- 東邦薬品株式会社
- 株式会社 大塚製薬工場
- 株式会社 ニチイ学館

事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-1 全共連ビル 麹町館 506
一般社団法人 日本在宅ケアアライアンス事務局
TEL.03-5213-4630 FAX.03-5213-4640 ✉ zaitaku@jhhca.com

HPにも情報を掲載しています



<https://www.jhhca.jp>